



City Cast NEWS

シティキャストニュース

「あづまの郷ウォーク大会」でボランティア活動を行いました！

あづまの郷ウォーク大会



2022年11月3日(木・文化の日)にあづま総合運動公園で「あづまの郷ウォーク大会」が開催され、約1,500人の参加者が紅葉に彩られた公園内やその周辺を歩きました。大会には、ゲストとして日本女子ソフトボール元監督の宇津木妙子さん、東京2020大会金メダリストの峰幸代さん、渥美万奈さんが登場し、参加者と一緒にウォーキングを楽しんだほか、競技体験ブースで参加者と触れ合いました。



競技体験ブースにおいて、都市ボランティアが活動を行いました！
また、ウォーク大会の出発時には、「いってらっしゃい！」と参加者のお見送りをしました。

参加者の声

- 初めてCity Castの服を着て活動しましたが、一体感があって充実した一日となりました。
- ウォーキングの参加者が出発する際に手を振ってお見送りしたところ、参加された方々が笑顔で手を振りかえしてくれて嬉しかったです。
- 体験ブースの受付表示が無く、参加者から質問が多かった。看板や表示を増やせば良かったのではないかと。

START UP!! ～県内のボランティア団体をご紹介します!～

今回は、傾聴ボランティアさくらの熱海さんに、活動の内容や傾聴の大切さについてお話をうかがいました!



桜の聖母短期大学 生涯学習センターの講座の1つに、傾聴ボランティア養成講座があります。東日本大震災後、講座の受講生たちの『地域に貢献したい』という思いと、仮設住宅や高齢者施設などからのボランティアの要請を受け、傾聴ボランティアさくらが設立されました。

傾聴ボランティア
さくら
代表／熱海紀子さん
スタッフの皆さん



ボランティアの 活動内容は?

傾聴とは、相手の話に耳も心も傾けて、熱心に聴くコミュニケーションです。傾聴ボランティアさくらでは、コロナ禍になる前は、高齢者施設や病院、個人宅を訪問し、話を聴く活動をしていました。現在はオンラインでの傾聴を行うほか、福島市まちなか交流施設ふくふるで月に3回、傾聴ボランティアカフェという形で話を聴く場を設けています。

50代から上は92歳の方まで70人が在籍。ボランティア活動のほか、講習会なども開催しています。熱海さんは「傾聴は【傾聴道】と言えるほど奥深く、日々研鑽を積んでいる」とお話をいただきました。



傾聴の 大切な役割

ボランティアの体験談です。「以前伺った施設で、寂しそうに背中を丸めた方を見かけました。声をかけると、自分の病気、仕事、家族のことなど話が尽きません。人生を振り返り、誰かに話したのは初めてだというその方は、最後には『自分の人生にも意味があったんだと気づいた』と胸を張っていました。」傾聴ボランティアは、生きる力を取り戻すお手伝いだと考えています。



ボランティアへの 参加方法について



まずは傾聴ボランティア養成講座を受講してください。傾聴とは何かを学び、傾聴の実践も行います。募集は3月、受講は4～8月の月1回で、受講料は無料です。受講生の中には「子育ての時に知っていれば役に立った」と話す方もいます。様々な年代の方に傾聴を知っていただきたいです。

? 傾聴ボランティアさくら〈桜の聖母生涯学習センター〉へのお問い合わせはこちらから

Web ▶ <https://www.sakuranoseibo.jp/s-center> / Tel ▶ 080-8211-6811